

平成27年度第1回 三重県伊勢志摩サミット推進本部会議 概要

- 1 開催日時:平成27年6月26日(金)14:15~14:45
- 2 開催場所:プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要:以下のとおり
(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

経過報告

- 佐脇課長【サミット総務課】(資料1に基づき説明)
推進会議の組織体制等を説明。

議題1 三重県伊勢志摩サミット推進本部(仮称)の設置について

- 佐脇課長【サミット総務課】(資料2-1、2-2に基づき説明)

☆稲垣防災対策部長

北海道庁職員としてサミットに携わった職員に聞いたが、予想以上に厳しい業務であると感じた。三重県でも防災・危機対策は警察・消防などと連携して心して臨もうと考えている。また、防災・危機管理や保健・医療に関しては光が当たらないこととなりがちであるので余計に難しいとのことであった。

事業の規模が大きいため、推進局と委員会のメンバーだけで乗り切れるとは思えないので、防災・危機対策委員会の立場からも、各部局の協力をお願いしたい。

☆伊藤健康福祉部長

保健・医療対策ということで、参加者の健康被害の未然防止、具体的には医療をはじめとして、感染症、食品衛生、水道対策であるが、厚生労働省と連携する。県の組織でも横断的な対応が必要。北海道庁を参考に委員会を健康福祉部中心に早期に設置したい。

☆田中観光局長

資料2-2「みえ伊勢志摩サミット推進本部設置要綱(案)」は正しくは「三重県伊勢志摩サミット推進本部設置要綱(案)」ではないのか。

●西城局長

ご指摘のとおり。

☆渡辺廃棄物対策局長

市町と連携して街をきれいにする取り組みをするにあたって、委員会設置が不要であると判断した場合は事務局と相談して進めていくことでよいのか。

●西城局長

それで結構である。

☆吉仲農林水産部長

部内で7月1日からサミット対応チームを立ち上げた。せっかくの機会であるので、県産の食材等を使ってもらいたいため、チームをつくりアイデアを出すように動き出したところである。

☆鈴木知事

一過性とならないためにも、それは非常に良いことである。

議題2 サミット開催地の視察報告について

- 岩本課長、関課長補佐【サミット開催支援課】(パワーポイント資料を使用して説明) サミット開催地の視察を報告。

その他

●西城局長

- ・資料2-2について一部訂正させていただく。
- ・次回は、7月14日に部長会議があるので、事前に幹事会を開催したうえで、同日に第2回推進本部会議を開催したい。

☆鈴木知事

- ・まだ、情報が少ない中、各部局で何ができるのかを積極的に考えて欲しい。一過性にしないことが大事。
- ・局の設置にあたり、人員が厳しい中で各部局に協力してもらったことに感謝する。残ったメンバーのモチベーションが下がらないように業務量を調整するなどして特定の職員に過度の負担とならないようにして欲しい。

(以上)